

十勝港



広尾町港湾課

〒089-2605 北海道広尾郡広尾町会所前6丁目2番地

☎01558-2-0185 (ダイヤルイン)

URL : <http://www.town.hiroo.hokkaido.jp/>

1. 概況

広尾町は十勝の南端にあって、北緯42度15分、東経143度18分に位置し、北海道の背骨といわれる日高山脈の東側の地帯を占めていて、東西31km、南北29km余におよび、その形はほぼ三角形をなし596.16km²の面積をもつ人口5,787人の町である。

港の歴史としては、明治20年に、初代北海道長官、今村通俊氏が、英国から港湾技師マーク氏を招へいして、7月から9月にかけて十勝ほか道東各港の干満測量や地質調査が行われ、次いで明治23年に、道庁広井勇技師がその後を引き継ぎ、本港修築のため詳細なる調査を行い、大正3年から同10年に至る7年間に、地形、深浅、潮流観測等が実施されている。このような経緯を得て、大正13年7月、衆議院において、広尾漁港修築建議案が提出され、採択された。

昭和4年第2期北海道拓殖事業計画で新規に取り上げられ事業費1,299,400円をもって南防波堤2,050尺、北防波堤900尺、船潤突堤東550尺、同北450尺、船潤面積4,050坪、埋築5,310面坪を築設し、昭和4年9月に修築工事が起工され、同9年に至る6カ月で完成するものと計画されたものであった。その後、昭和18年に至る15年間の継続事業として総工費175万円をもって、第1期工事を完了し、その後、大東亜戦争の影響により工事は中断された。

戦後、昭和26年に本港の修築工事が再開され、同年4月に避難港の指定を受け、南北防波堤と船潤東、北堤とも嵩上工事が施工されてから、港内の静穏度が著しく改善された。また昭和28年3月広尾町長が港湾管理者となり、当時避難港であった十勝港も十勝管内唯一の海の玄関港として、苫小牧港と釧路港との中間に位置し、道東における流通拠点港湾として開発され、港湾区域もそれまで半径1,000mを1,300mに広げ昭和34年6月政令第214号により地方港湾に昇格、翌35年はじめて貨物船が入港接岸し、このころより商港的役割を見せるに至った。昭和37年に日本海運(株)が地元十勝海運(株)と併行して活発な海運業務を開始し、港湾取扱貨物量は前年の8万9,000トンに対して15万1,000トンと飛躍的に増大した。更に翌38年関光汽船(株)が出張所を開設し、海運業務が一段と活発化され、十勝地方開発のための港としての役割を果たすことになった。

このころより本港は単なる広尾町に属する商港というより、全十勝の流通の要となってきた現実をふまえ、その名を「十勝港」に変更の機運が高まり、昭和38年6月町議会において

議決され、昭和40年5月港則法第80号により正式に広尾港が十勝港に改称され、昭和41年には取扱貨物量も30万トンの大台にのり、単なる港としてでなく、地域開発に占める責任もまた重要視されるに至った。これを裏づけるように運輸省港湾局の昭和60年を目標とした港湾整備の方向づけのなかで十勝港は全国38港湾内7港が指定された流通拠点港のひとつに取り上げられたのである。

翌44年には名古屋港との定期航路の開設、またセメント配分基地の設置により、セメント専用船の入港を見るなどこのような港勢の発展を背景として名実ともに十勝平野及び北見、上川地方の一部をヒンターランドとする流通拠点港としての役割が認識されるようになり、昭和45年5月1日付政令第116号をもって道内8番目、町としては唯一の重要港湾の指定をうけるに至ったわけである。

重要港湾の指定を受け、その使命を発揮する港として整備が進められ、現況の施設は、大型けい留施設-13m 1バース、-12m 1バース、-10m 1バース、-8m 1バース、-7.5m 6バース、-5.5m 8バース、総延長2,390mを有している。取扱い貨物については農水産品、林産品、鉱産品、化学工業品、特殊品など平成30年に145万トンとなっている。平成11年4月には、植物防疫法に基づく指定港、同年7月には、関税法に基づく「開港」となり、平成12年6月には、検疫法に基づく無線検疫港の指定を受けた。

日本有数の食糧基地「十勝」を背後圏に持つ十勝港は、地域の基幹産業である農業を支える港「アグリポート」と位置づけ、十勝で生産された農産品を全国に向け移出する一方で農業生産に不可欠な肥料や飼料原料の安定供給に向け、輸移入も行っている。平成23年4月からは、保管から配合飼料製造までを一貫して行う飼料コンビナートが操業開始し、取扱貨物量も堅調に推移している。

平成26年11月からは、水面貯木場が供用開始となり、港湾機能の強化と利活用の促進など多機能な港湾整備を進めている。

令和6年5月よりOOCL(オリエン特オーバーシーズコンテナライン リミテッド)と井本商運株式会社の共同運航により十勝港、釧路港と京浜港を結ぶコンテナ船定期航路が開設された。

令和7年3月に農林水産物等の輸出促進のための港湾として国土交通省より「特定農林水産物・食品輸出促進港」(通称:産直港湾)に認定される。これを受けて、十勝の農畜産物の輸出の拠点としてコンテナヤードの整備を進め、令和7年度中の供用開始を予定している。

2. 港勢

入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	76	936,087	13	516,500	11	220,281	6	45,767
内航商船	547	399,125						
自航 その他	6,677	259,158			2	23,199		
合計	7,300	1,594,370	13	516,500	13	243,480	6	45,767

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	12	55,952	34	97,587				
内航商船	26	114,210	1	2,507	93	69,619	427	212,789
自航 その他			9	9,900	28	17,203	6,638	208,856
合計	38	170,162	44	109,994	121	86,822	7,065	421,645

最大入港船舶のトン数 50,142総トン(喫水14.6m)

海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	434,175	100.0	166,500	38.3	17,092	3.9	75,220	17.3		
計	434,175	100.0	166,500	38.3	17,092	3.9	75,220	17.3		
移出	508,125	100.0	299,535	58.9	58,992	11.6	6,223	1.2		
移入	537,535	100.0	169,556	31.5	1,612	0.3	162,910	30.3	256	0.0
計	1,045,660	100.0	469,091	44.9	60,604	5.8	169,133	16.2	256	0.0
合計	1,479,835	100.0	635,591	43.0	77,696	5.3	244,353	16.5	256	0.0

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入	94,838	21.8					80,525	18.5		
計	94,838	21.8					80,525	18.5		
移出	70,432	13.9	52,109	10.3	4,233	0.8	16,601	3.3		
移入	98,781	18.4					104,420	19.4		
計	169,213	16.2	52,109	5.0	4,233	0.4	121,021	11.6		
合計	264,051	17.8	52,109	3.5	4,233	0.3	201,546	13.6		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路			
計			

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物	
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋			
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)		
(公 共)												
漁業ふ頭		6.0	130	500G/t	2						水産品	
南ふ頭	第1岸壁	5.5	90	2,000	1				1	1,750	水産品	
	第2岸壁	5.5	90	2,000	1						水産品	
	第3岸壁	5.5	90	2,000	1						水産品、化学工業品 軽工業品	
	第4岸壁	7.5	130	5,000	1						農産品、セメント	
	第5岸壁	5.5	50	2,000	1							
第2ふ頭	第1岸壁	7.5	130	5,000	1						農産品、セメント	
	第2岸壁	7.5	130	5,000	1						農産品、化学工業品	
第3ふ頭	第1岸壁	5.5	90	2,000	1				1	2,767	林産品、化学工業品 特殊品	
	第2岸壁	7.5	130	5,000	1						化学工業品、雑工業品 特殊品	
	第3岸壁	7.5	130	5,000	1						林産品、鋁産品 化学工業品、特殊品	
	第4岸壁	10.0	185	15,000	1						林産品、特殊品	
	第5岸壁	7.5	130	5,000	1						林産品	
	第6岸壁 耐震(緊急)	5.5	90	2,000	1							
	第7岸壁	5.5	90	2,000	1	L						農産品
	第8岸壁	5.5	90	2,000	1							
第4ふ頭	第1岸壁	8.0	240	10,000G/t	1						農産品、鋁産品 化学工業品、特殊品	
	第2岸壁	12.0	240	30,000	1						鋁産品、化学工業品	
	第3岸壁	13.0	260	40,000	1	U					農産品、特殊品	

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場		
(石炭)	-	40,000m ²
(原木)	-	12,000m ²
(その他)	-	93,948m ²
普通倉庫		
1~3類倉庫	41	49,660m ²
危険品倉庫	7	1,620kl
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	6	179,500t
冷蔵倉庫	5	7,723m ²
水面倉庫(貯木場)	1	50,000m ²

泊地		
区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
旅客ターミナル (平8.9完成)	655

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	12,668
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

名称	区分	面積 (㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
二見公園		1,000 (31.2)	-	休息緑地	昭和55年度		
楽古緑地		19,000 (10.0)	214	親水緑地	平成19年度	便所(バイオトイレ) ベンチ	

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
十勝ハーバータグボート(株)	〒089-2605 北海道広尾郡広尾町 会所前6丁目2番地	01558-2-6667	3,600 4,500	1 1

医療・厚生施設

(港湾)

区分	名称	所在地	電話番号
休泊所	広尾町漁村環境改善総合センター	〒089-2605 北海道広尾郡広尾町会所前3丁目38番地	01558-2-5323
医療	広尾町国民健康保険病院	〒089-2622 北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目	01558-2-3111

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
釧路開発建設部築港課	〒080-8551 北海道釧路市幸町10丁目3番地	0154-24-7325
釧路開発建設部釧路港湾事務所	〒084-0914 北海道釧路市西港1丁目	0154-51-4381
広尾海上保安署	〒089-2624 北海道広尾郡広尾町並木通東1丁目12番地	01558-2-0118
広尾警察署	〒089-2624 北海道広尾郡広尾町並木通東1丁目	01558-2-0110
帯広開発建設部広尾道路事務所	〒089-2624 北海道広尾郡広尾町並木通東2丁目	01558-2-3148
十勝保健福祉事務所広尾支所	〒089-2622 北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目	01558-2-2191
広尾消防署	〒089-2624 北海道広尾郡広尾町並木通東4丁目4番地	01558-2-2730
広尾町役場(港湾課)	〒089-2605 北海道広尾郡広尾町会所前6丁目2番地	01558-2-0185
釧路税関支署十勝出張所	〒089-2605 北海道広尾郡広尾町会所前6丁目2番地	01558-2-0406

十勝港

